

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2022年9月) —失業率は6.6%で良好な状況を維持

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

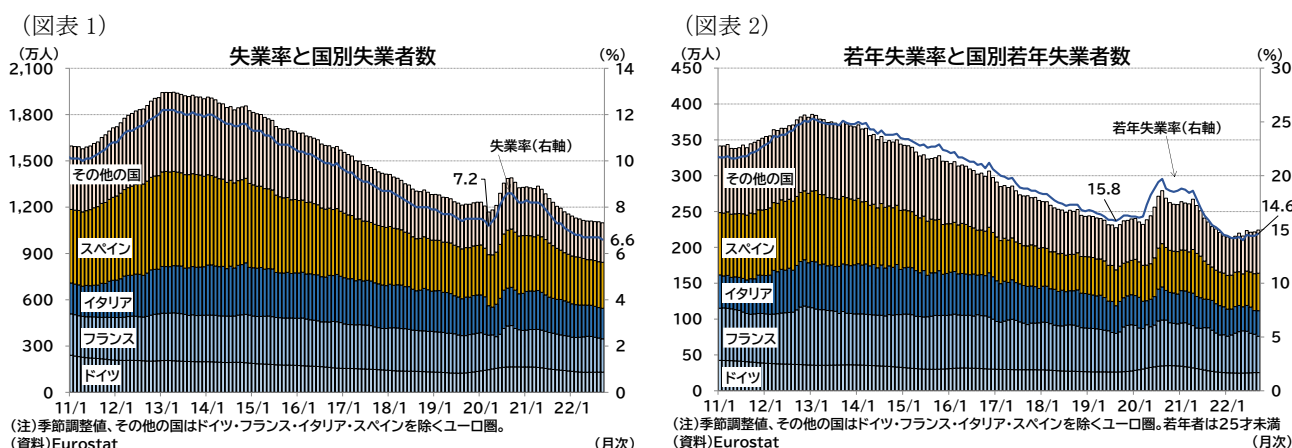
TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

1. 結果の概要:6%台半ばの低水準で横ばい推移

11月3日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

【ユーロ圏19か国失業率(2022年9月、季節調整値)】

- ・失業率は6.6%、市場予想¹(6.6%)と同じで、前月(6.7%)からやや低下した(図表1)
- ・失業者は1098.8万人となり、前月(1105.4万人)から6.6万人減少した



2. 結果の詳細:雇用環境は良好な状況を維持している

ユーロ圏の22年9月の失業率は6.6%で、前月(6.7%)からやや低下し、統計データ公表以来の最低値となった。ユーロ圏では高インフレを受けて実質成長率の鈍化が顕著だが、雇用環境は相対的に良好な状況を維持している。なお、今回公表された8月以前の失業率の改定値は小幅に悪化方向に修正された(8月改定前6.7%→改定後6.6%、7月6.7→6.6%)。

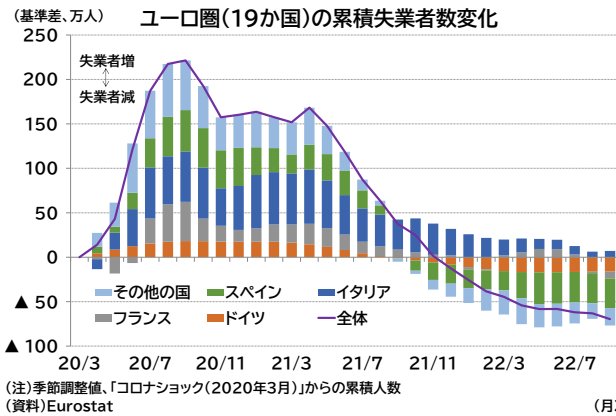
失業者数は9月の前月差で6.6万人減と減少、減少幅は8月(同1.1万人減)から拡大した(図表3・4)。主要国の9月の失業者数変化は前月差でドイツ(+0.1万人)、スペイン(+0.6万人)、イタリア(+0.8万人)で増加したものの、フランス(▲6.0万人)では大幅に減少した。

9月の若年失業率は14.6%となり、8月(14.4%)から上昇した(図表2)。なお、8月以前の数値が大幅に悪化方向に改定されている(8月13.9→14.4%、7月14.0→14.4%、6月:14.3→14.5%)

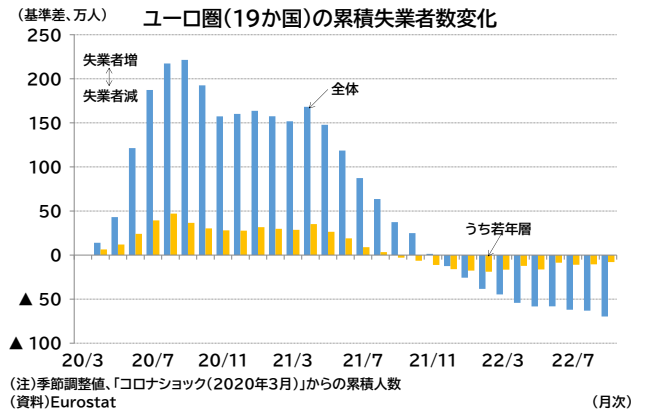
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

など。若年失業者数は9月で224.1万人（前月差+2.5万人）となり、8月（+0.5万人）に続き2か月連続で増加している（図表4）。

（図表3）

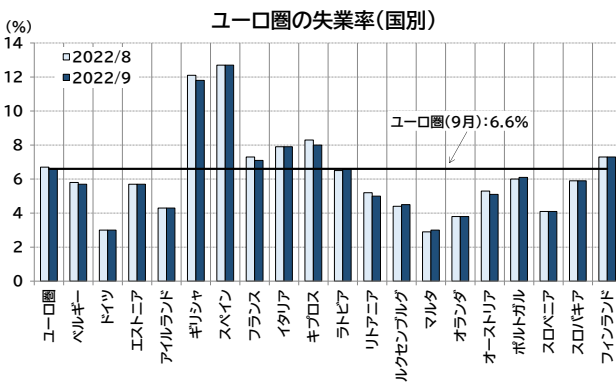


（図表4）

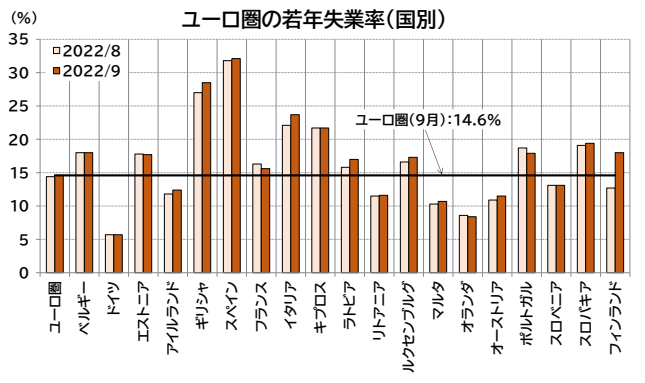


国別の9月のデータを見ると、失業率はデータが公表されている19か国中、悪化した国が4か国、改善が6か国、横ばいが9か国だった（図表5）。また、若年失業率は19か国中、悪化した国が11か国、改善が4か国、横ばいが4か国だった（図表6）。

（図表5）



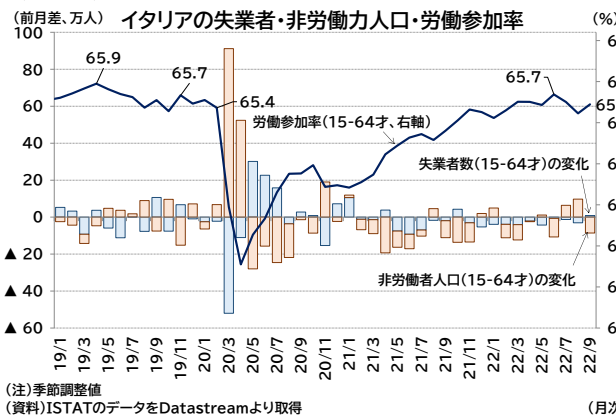
（図表6）



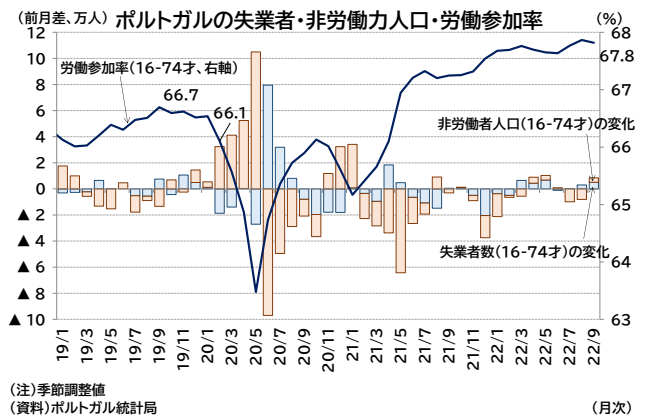
最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアでは失業者が微増したものの、非労働力人口が減少したため就業者は増加した（図表7）。その結果、労働参加率は65.4%とやや改善している。

一方、ポルトガルでは失業率が増加、非労働力人口も増加しており、就業者数が減少している。ただし労働参加率は67.8%と高い水準を維持している（図表8）。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。